



国連大学における取組 持続可能な水と都市のためのイニシアチブ

都市が直面する課題

都市化の進展
人口増加
土地利用の変化
気候変動



水環境の悪化

都市型水害の頻発

目的

アジアの主要都市における水環境の将来予測及び経済評価を統合的に行うことにより、**科学的知見に基づく政策立案**に寄与

- 評価ツールの提供
- 政策立案・実施能力の向上支援

将来予測（統合モデル）

1. 洪水
2. 水質
3. 洪水に伴う健康リスク

経済評価

1. 洪水被害
2. 水質価値
3. 洪水に伴う健康損失

政策提言

1. 洪水対策
2. 汚水処理対策



実施期間

平成26年度～平成29年度

対象都市

フィリピン	ベトナム	ネパール	中国	インドネシア		インド	
マニラ	ハノイ	カトマンズ	南京	ジャカルタ	メダン	チェンナイ	ラクナウ



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献

6.3: 汚染の減少、未処理排水の半減等による**水質改善**

6.a: 水と衛生分野での活動と計画を対象とした**国際協力と能力構築支援**の拡大

13.1: 気候関連災害や自然災害に対する**強靱性 (レジリエンス) 及び適応能力の強化**

13.3 気候変動の緩和、適応等に関する**教育、啓発、人的能力及び制度機能の改善**

11.3: **包摂的かつ持続可能な都市化の促進**

11.5: 水関連災害などの**災害による死者や被災者数の大幅削減**

3.9: 水質汚染による**死亡及び疾病件数の大幅減少**

9.1: 質の高い、信頼でき、**持続可能かつ強靱 (レジリエント) なインフラの開発**

